



はま風 中

第7号 令和3年11月17日発行

切不 好
磋撓 学
琢不 愛
磨屈 知

校訓

今できることを市来中の生徒に

市来中学校 校長 五反田晴夫

11月8日から2泊3日の日程で2年生の修学旅行が行われました。当初は5月に長崎・福岡方面を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染状況を勘案し県内に変更しました。

鹿屋航空基地資料館、内之浦宇宙空間観測所、肝属地区環境ふれあい館、黒酢の里、上野原縄文の森、霧島アートの森、仙巖園、鹿児島水族館を巡る盛りだくさんの行程となりました。生徒の感想を2つ紹介します。

(その1) 僕はこの修学旅行を通して、平和のありがたさを改めて知ることができました。修学旅行前の平和学習では、戦争の時の暮らしや核兵器の恐ろしさなどを知り、鹿屋航空基地資料館では戦争で攻撃に使ったものが展示され、実物を見ながら詳しく学びました。その中で僕が印象に残ったことは、「特攻隊」についてです。資料館のガイドさんは、特攻隊は相手のところに突撃して死なないと任務が終了しないとっていました。その中には僕たちとも年齢の変わらない人もいたそうです。今の時代にはそんなことはありえないけれど、戦争の時にはあったということでも驚いたし、かわいそうだと思います。だからこそ、僕は今ある命を大切に、平和の尊さを忘れないように過ごしていきたいと思いました。



(その2) 今回色々な施設に行って公衆道德の大切さを学びました。そこにあるルールは自分のためにも、他にいる人たちのためにも守りたいと思いました。そして修学旅行の思い出もたくさんできました。いつもはあまりしゃべらない人と協力してやりとげたり、しゃべったりすることもできました。また、いつも一緒にいる友達とも友情を深めることができたと思います。「楽しい」だけじゃダメだけど、今回の修学旅行は「楽しい+学ぶ+集団生活+思い出」のたくさんの形で終わったいい修学旅行になったと思います。修学旅行での集団行動を学校生活や今後にかかしていきたいです。

コロナによる制約を受け、以前は当たり前のように行っていた学校行事も中止せざる終えない状況になっており、生徒の健やかな成長に影響があるのではないかと大変危惧していました。そんな中において、修学旅行、先日の合唱コンクールや文化祭も生徒たちは主体的に取り組み、大きく成長しました。

「何かを学ぶためには、自分で体験する以上にいい方法はない。」とアインシュタインは言っています。今後でもできることをできる範囲で知恵を出し合いながら生徒たちのために工夫して実施していきたいと思っています。そして、生徒が様々な活動を通して、悩んだり、笑ったり、泣いたり、楽しんだりしながら大きく成長してほしいと思います。

よからぬ予定



11月24日(水)	期末テスト①	12月1日(水)	食に関する学習(3年生)
25日(木)	期末テスト②	3日(金)	人権学習
26日(金)	期末テスト③	9日(木)	合同避難訓練
29日(月)	食に関する学習(1年生)	11日(土)	土曜授業
30日(火)	食に関する学習(2年生)	16日(木)	生徒会による人権学習
		24日(金)	終業式
		1月11日(火)	始業式 実力テスト(3年生)
		12日(水)	実力テスト(3年生)



文化祭・合唱コンクール

10月29日(金)に「Best smile again ～もう一度最高の笑顔を～」をテーマに掲げ、第75回文化祭を開催しました。午前中は、いちきアクアホールで合唱コンクール及び吹奏楽部演奏、午後は市来中で展示発表を行いました。生徒たちの日頃の学習成果を保護者の方々に見ていただく貴重な一日となりました。鑑賞していただいた保護者の感想を一部紹介します。

- ・それぞれのクラスの“色”が歌声にあらわれていて、全クラス聞き応えがありました。その中でも3年生の完成度はさすが！でした。
- ・全てにおいてとても素晴らしく感動しました。心に栄養をいただいた気分です。
- ・作品においても個々の頑張り、成長を感じながら拝見させていただきました。これからも子供たちの成長が楽しみです。



修学旅行

2年生が、11月8日(月)～11月10日(水)に修学旅行を行いました。当初、5月に県外での実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今回の実施となりました。途中、雨が降るなど天候に恵まれないことがありましたが、大きな事故などもなく全行程を無事終了することができました。



修学旅行の3日間は、平素、校内では学習することのできない様々な体験的な活動を通して社会的な視野を広げたり、友達や先生と寝食を共にし、互いに触れ合う中で親睦を深めたりする機会となりました。

今日、知りたい情報はインターネット等で瞬時に調べることができ、知識を得ることができます。また、画面を通し間接的な体験をすることも可能です。しかし、間接的な体験よりも五感を通した直接的な体験が、より多くの感動を味わうことができると同時に、思考力、判断力、表現力の育成につながります。修学旅行で実際その場に行き自分が直接的に体験する中で学び得たことは一生の財産になるに違いありません。

3日間ではありましたが、住み慣れた地を離れ、いつもと違う土地・環境で過ごせたことは、貴重な経験となりました。この経験を生かしながら、今後の様々な行事に精一杯取り組み、更にたくましく成長してくれることを願っています。

市来愛友会標語

今年度の市来愛友会標語の入賞作品が決まりました。これは市来地域を盛り上げようと集まった有志で結成された「市来愛友会」が主催して、毎年市来中・市来小・川上小の児童・生徒から標語を募集し、優秀な作品を各学校前とアクアホール前の掲示板に展示してくださっています。



今年も、「挨拶あふれる市来」「市来の自慢できること」「安全で安心して生活できる市来」の3つのテーマで募集されました。

1年

前を見て

歩きスマホは

けがのもと

3年

助手席に

座るあなたも

ドライバー

3年

貴方を想う人がいる

今日も守ろう

交通ルール

